DX推進ビジョン

第1版

2023年3月

TAKARAZUKA

DXを推進する理由

スマートフォンひとつあれば様々な情報につながり、遠くの人とのコミュニケーションや買い物など、私たちの日々の生活の利便性は向上しています。一方で、市役所のサービスは平日の日中に来庁しないとできない手続きなど、日々の生活における利便性に追い付いていないのが現状です。

人ならではの温かさあるサービスの良さは残しながら、デジタル技術も活用することで、誰一人取り残すことなく、より市民の視点に立った便利で快適な、生活を豊かにするサービスによって、市民の多様な幸せを追求します。また、職員がやりがいを持って仕事に取り組み、自分や家族の時間もより大切にし、職員自身の幸せも考えて、DXを推進します。

宝塚市におけるDXの考え方

（デジタルを活用し）〈 市民のくらしを もっと 便利に / つながりを もっと 生み出す市役所に / 業務を もっと むだなく 効率的に 〉することで、

ともにこれからのまちをつくっていくこと

DX推進ビジョンの全体像

ミッション（使命）	個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現（まちづくり基本条例の目的）		
ビジョン（実現したい未来の姿）	◆ デジタルによる便利なサービスと、人ならではの温かさあるサービスが融合し、誰一人取り残すことなく、あらゆる人の多様な幸せを追求している。 ◆ 職員がやりがいを持って仕事に取り組み、自分や家族の時間もより大切にすることができている。		
	市民のくらしをもっと便利に	つながりをもっと生み出す市役所に	業務をもっとむだなく効率的に
	行政手続きのオンライン化や個人に合わせたサービスの最適化など、市民や職員といった人を中心にサービスの変革ができている	デジタルを活用してこれまでつながることができなかった人ともつながり、多様な主体との協働・共創による持続可能なまちづくりができている	デジタルも活用して日々の仕事を見直し、自ら変化し、成長していく市役所に組織風土を変革し、持続的に価値を創造し続けることができている
バリュー（価値観・行動規範）「あ」からはじまる7つの合言葉	① ありたい姿を描こう ② あたらしい世界に飛び込もう ③ あんしんして意見が言える場をみんなでつくろう ④ あつめた情報を共有しよう ⑤ アジャイル（臨機応変）に進めよう ⑥ あきらめなければ失敗じゃない ⑦ あなたも主役、みんなで取り組もう		
アクション（具体的な取組）自治体DX推進計画の重点項目を基に作成	①自治体情報システムの標準化	⑤多様な働き方の推進	⑨BPRの取組の徹底
	②マイナンバーカードの普及促進	⑥セキュリティ対策の徹底	⑩データ利活用の推進
	③行政手続のオンライン化	⑦地域社会のデジタル化	⑪デジタル人材の育成
	④デジタル技術の利用促進	⑧デジタルデバイド対策	

おまけ

DX推進ビジョンの本編には、3体のロボ塚くん と、1つの隠しメッセージが隠されています。是非探してみて下さい。